

## 参考文献

### 【図録・写真集】

- 『ベトナム戦争の記録』大月書店、1988年
- 『NAM 狂気の戦争の真実』同朋舎出版、1990年
- 『ヴェトナム戦争 米軍軍装ガイド 〔新装版〕（ミリタリー・ユニフォーム1）』ケヴィン・ライルズ（三島瑞穂：監訳、北島護：訳）、並木書房、2003年
- 『実録ヴェトナム戦争米歩兵軍装ガイド（ミリタリー・ユニフォーム5）』ケヴィン・ライルズ（三島瑞穂：監訳、北島護：訳）、並木書房、1997年
- 『東南アジア 近代美術の誕生』東南アジア近代美術の誕生実行委員会：著、福岡市美術館、広島県立美術館、静岡県立美術館、財団法人東京都歴史文化財団、読売新聞社、美術館連絡協議会、1997年
- 『レクイエム ヴェトナム・カンボジア・ラオスの戦場に散った報道カメラマン遺作集』（ホースト・ファース、ティム・ペイジ：編、大空博：訳）、集英社、1997年
- 『報道カメラマン石川文洋写真集』戦争と平和』第3巻 ベトナム報道35年』石川文洋、ルック、1996年
- 『U.S. マリーンズ ザ・レザーネック』上田信、大日本絵画、1996年
- 『犬の事典』セルジュ・シモン、ドミニク・シモン（今泉忠明：監修、岡田好恵：訳）、学習研究社、2002年
- 『ヴェトナム颱風』外山ひとみ、新潮社、2003年
- 『リトルボーイ 爆発する日本のサブカルチャー・アート』村上隆：編著、ジャパン・ソサエティー／イェール大学出版、2005年
- 『写真が語る ベトナム戦争（「知」のビジュアル百科29）』スチュアート・マレー（赤尾秀子：訳、村井友秀：監修）、あすなろ書房、2006年
- 『世界の軍用銃 第一次大戦の軍用銃から最新軍用銃までの仕組みと用法がわかる（世界の傑作機別冊 Graphic Action Series）』坂本明、文林堂、2006年
- 『戦争と平和（報道写真）が伝えたかった日本』白山眞理、小原真史、平凡社、2015年
- 『VIETNAM INC.』 Philip Jones Griffiths PHAIDON PRESS inc. 1971

『ANOTHER VIETNAM — PICTURES OF THE WAR FROM THE OTHER SIDE —』 TIM PAGE National Geographic Society 2002

『BIKES OF BURDEN』 Hans Kemp Visionary World Ltd. Publication 2003

『Điện Biên Phủ hình ảnh và sự kiện』 2004

『THE FORMER CAPITAL OF HUE』 2008

### 【雑誌】

- 『G5 たのしい知識 vol.3 特集：千のアジア』冬樹社、1985年
- 『ユリイカ 増頁特集：マルグリット・デュラス』（1985年7月号）青土社
- 『ユリイカ 特集：ベトナム戦争とアメリカ描きだされたVietnam War』（1990年8月号）青土社
- 『WAVE NO.27 特集：ポップ・エイジア』ペヨトル工房、1990年
- 『ミュージック・マガジン 特集：終結から20年—音楽を変えたヴェトナム戦争』（1995年5月号）ミュージック・マガジン
- 『InterCommunication No.32 特集：20世紀のカルテ『戦争の世紀』と芸術』NTT出版、2000年
- 『NATIONAL GEOGRAPHIC（日本版） 特集：オリンピック都市シドニー／世界遺産アンコール・ワット』（2000年8月号）日経ナショナルジオグラフィック社
- 『現代思想10月臨時増刊 総特集：これは戦争か』青土社、2001年
- 『美術手帖 特集：21世紀の戦争と美術』（2003年6月号）美術出版社
- 『STUDIO VOICE 特集：写真を変えた宿命のフォト・マスター69 vol.337』（2004年1月号）インファス・パブリケーションズ
- 『レコード・コレクターズ 特集：ビーチ・ボーイズ—スマイル』（2004年11月号）ミュージック・マガジン
- 『季刊前夜第一期5号 特集：戦争と芸術』（2005年10月号）前夜
- 『丸 特集：最強軍艦 空母『赤城』（2010年5月号）潮書房
- 『KAWADE 夢ムック 文藝別冊 開高健』河出書房新社、2010年
- 『Vietnam SKETCH』（2011年6月号）エーペックスベトナム
- 『TRANSIT 23号 特集：美しき水と密林の奥—ベトナム・カンボジア・ラオス—』講談社、2013年

【単行本】

- 『ベトナムのアメリカ人（残虐行為とその意味）』（小田実…編）、合同出版、1966年
- 『戦場の村』本多勝一、朝日新聞社、1968年
- 『北爆の下』本多勝一、朝日新聞社、1969年
- 『ベトナムはどうなっているのか？』本多勝一、朝日新聞社、1977年
- 『東南アジア現代史III ヴェトナム・カンボジア・ラオス（世界現代史7）』桜井由躬雄、石澤良昭、山川出版、1977年
- 『ベトナム・中国・カンボジアの関係と社会主義を考える』（本多勝一…編）、朝日新聞社、1979年
- 『世界を変えた戦争・革命・反乱 総解説』（三浦一郎、小倉芳彦、樺山紘一…監修）、自由国民社、1983年
- 『ジャングル・クルーズにうつつけの日 ヴェトナム戦争の文化とイメージ』生井英考、筑摩書房、1987年
- 『ホー・チ・ミン 民族解放とドイモイ（現代アジアの肖像10）』古田元夫、岩波書店、1996年
- 『新版 ベトナム日記 アメリカの戦争犯罪をわすれるな！』柴田進午、新日本出版社、1976年
- 『ベトナム戦争と生態系破壊』（SI-PRR（ストックホルム国際平和研究所）…編、岸由二、伊藤嘉昭…訳）、岩波現代選書、1979年
- 『カンボジアの戦慄』細川美智子、井川一久、朝日新聞社、1980年
- 『マリファナ・ナウ』（マリファナ・ナウ編集会…編）、第三書館、1981年
- 『したたかな敗者たち』近藤紘一、文藝春秋、1982年
- 『東南アジア世界の形成（《ビジュアル版》世界の歴史12）』石井米雄、桜井由躬雄、講談社、1985年
- 『グリーンベレー 赤の殿下を狙え』柘植久慶、並木書房、1989年
- 『ドキュメント ヴェトナム戦争全史』小倉貞男、岩波書店、1992年
- 『イエロー・フェイス』村上由見子、朝日選書、1993年
- 『ライカ同盟』尾辻克彦、講談社、1994年
- 『ヴェトナム（暮らしがわかるアジア読本）』（坪井善明…編）、河出書房新社、1995年

- 『もっと知りたいベトナム』（桜井由躬雄…編）、弘文堂、1989年
- 『戦争志願 アフガン・カレン・ボスニア最前線』高部正樹、並木書房、1996年
- 『わたしのベトナム料理』有元葉子、柴田書店、1996年
- 『切り裂きジャックの真相』ブルース・ペイリ（戸根由紀恵…訳）、原書房、1997年
- 『〈兵器ハンドブック〉ベトナム戦争』三野正洋、深川孝行、仁川正貴、朝日ソノラマ、1998年
- 『ヴェトナム独立運動家 潘佩珠伝』内海三八郎、芙蓉書房出版、1999年
- 『ベトナム戦争 民衆にとつての戦場』吉澤南、吉川弘文館、1999年
- 『中古カメラ あれも欲しい これも欲しい』赤瀬川原平、筑摩書房、1999年
- 『ベトナム怪人紀行』ゲッツ板谷（鴨志田穰…写真、西原理恵子…絵）、スターツ出版、1999年
- 『ベトナムの事典（東南アジアを知るシリーズ）』（石井米雄…監修、桜井由躬雄、桃木至朗…編）、同朋舎、1999年
- 『負けた戦争の記憶 歴史のなかのヴェトナム戦争』生井英考、三省堂、2000年
- 『非戦』（坂本龍一＋sustainability for peace: 監修）、幻冬舎、2002年
- 『総力戦と女性兵士』佐々木陽子、青弓社、2001年
- 『アジアのかわいいアンティークと雑貨たち』江守さと（佐藤康…写真）、同朋舎、2001年
- 『ヴェトナム 歴史の旅』小倉貞男、朝日選書、2002年
- 『爆心地』の芸術』榎木野衣、晶文社、2002年
- 『ベトナムから来たもう一人のラストエンペラー』森達也、角川書店、2003年
- 『NO! WAR』（野田努、三田格、水越真紀、吉住唯、工藤キキ…編）、河出書房新社、2003年
- 『ショパンに愛されたピアニスト ダン・タイ・ソン物語』伊熊よし子、ヤマハミュージックメディア、2003年
- 『ことたび ベトナム語』塩谷恵、白水社、2003年
- 『タイ&ベトナムおいしい屋台料理』宮前祥子、山原美和、文化出版局、2003年
- 『ベトナム戦争の「戦後」』（中野亜里…編）、めこん、2005年

『ベトナム家庭料理入門 台所にありがりこんで教えてもらった味』三浦行義、大野尚子、農山漁村文化協会、1996年

『731』青木富貴子、新潮社、2005年

『フラヌール⑩ VIETNAM』NOVA、2006年

『イラスト会話ブック ベトナム』大田垣晴子、JTBパブリッシング、2006年

『世界のミリメシを食食する(ワールド・ムック612)』菊月俊之、ワールドフォトプレス、2006年

『続・ミリメシおかわり! 兵士の給食・レーション 世界のミリメシを食食する(ワールド・ムック637)』菊月俊之、河村喜代子、ワールドフォトプレス、2007年

『私たちは、脱走アメリカ兵を越境させた…: ベ平連/ジャテック、最後の密出国作戦の回想』高橋武智、作品社、2007年

『ベトナム・ストーリーズ』神田憲行、河出書房新社、2007年

『戦争はいかに「マンガ」を変えるか アメリカンコミックスの変貌』小田切博、NTT出版、2007年

『映画でベトナム ベトナム映画19本+ベトナム文化』窪田守弘:編著、金村久美、グエン・アイン・フォン、井爪謙治、南雲堂フェニックス、2007年

『ベトナムの歴史 ベトナム中学校歴史教科書(世界の教科書シリーズ21)』(ファン・ゴク・リエン:監修、今井昭夫:監訳、伊藤悦子、小川有子、坪井未来子:訳)、明石書店、2008年

『花はどこへいった 枯葉剤を浴びたグレッグの生と死』坂田雅子、トランスビュー、2008年

『ベトナムおうちごはん』鈴木珠美、扶桑社、2008年

『ロンリープラネットの自由旅行ガイド ベトナム』メディアファクトリー、2003年

『ベトとドクと日本の絆』(藤本文朗、桂良太郎、小西由紀:編著)、新日本出版社、2010年

『水上マーケットの朝、アヒル粥の夜 あっちこっちベトナム旅ごはん』高谷亜由、幻冬舎、2015年

『ハノイで考えたこと』スーザン・ソング(邦高忠二:訳)、晶文社、1969年

『ソナム ミンハイ第四地区における虐殺とその波紋』セიმア・ハーシユ(小田実:訳)、草思社、1970年

『正伝ホー・チ・ミン』ベトナム労働党中央党史研究委員会(真保潤一郎:訳)、毎日新聞社、1970年

『写真論』スーザン・ソング(近藤耕人:訳)、晶文社、1979年

『「ニューズウィーク」の世界』オズボーン・エリオット(竹林卓:訳)、時事通信社、1984年

『ザ・殺人術』ジョン・ミネリー(富士碧:訳)、第三書館、1987年

『ベトナム航空戦 米軍エア・パワーの戦い』ロバート・F・ドール(難波皎:訳)、大日本絵画、1990年

『ベトナム海兵戦記』アーネスト・スペンサー(山崎重武:訳)、大日本絵画、1990年

『デイスパッチズ ヴェトナム特電』マイケル・ハー(増子光:訳)、筑摩書房、1990年

『ベトナム難民少女の十年』トラン・ゴク・ラン、中央公論社、1990年

『ベトナム・チョップパー ヘリ航空戦1950-1975』サイモン・ダンスタン(石川潤一:訳)、並木書房、1992年

『アメリカの中のヒロシマ(上)』R・J・リフトン、G・ミッチェル(大塚隆:訳)、岩波書店、1995年

『マクナマラ回顧録 ベトナムの悲劇と教訓』ロバート・S・マクナマラ(仲晃:訳)、共同通信社、1997年

『バイクで駆けたヴェトナム ホーチミン・ルート踏破の夢』クリストファ・ハント(真野明裕:訳)、河出書房新社、1997年

『マグナム 報道写真 半世紀の証言』ラッセル・ミラー(木下哲夫:訳)、白水社、1999年

『果てしなき論争』ロバート・S・マクナマラ(仲晃:訳)、共同通信社、2003年

『ベトナム戦争におけるエージェンツオレンジ 歴史と影響』レ・カオ・ダイ(尾崎望:監訳)、文理閣、2004年

『チェ・ゲバラ 革命を生きる』ジャン・コルミエ(太田昌国:監修、松永りえ:訳)、創元社、2004年

『本当の戦争』クリス・ヘッジズ(伏見威蕃:訳)、集英社、2004年

『カラシニコフ』松本仁一、朝日新聞社、2004年

『ジジエク自身によるジジエク』スラヴォイ・ジジエク、グリーン・デイリー(清水知子:訳)、河出書房新社、2005年

『ケネディ家の呪い』エドワード・クライン  
(金重紘…訳)、綜合社、2005年  
『サバイバル・マニユアル』バリー・デイヴィ  
ス(飯塚孝一…訳)、原書房、1997年  
『ホル・ポト ある悪夢の歴史』フィリップ・  
シヨート(山形浩生…訳)、白水社、2008  
年  
『戦争の経済学』ポール・ポースト(山形浩  
生…訳)、バジリコ、2007年  
『服従の心理』スタンレー・ミルグラム(山形  
浩生…訳)、河出書房新社、2008年  
『ホーチミン・ルート従軍記 ある医師のベト  
ナム戦争1965・1973』レ・カオ・ダイ  
(古川久雄…訳)、岩波書店、2009年  
『他者の苦痛へのまなざし』スーザン・ソンタ  
グ(北條文緒…訳)、みずす書房、2003年

#### 【新書】

『JFK 大統領の神話と実像』松尾式之、ち  
くま新書、1994年  
『僕が戦場で死んだら』ティム・オブライエン  
(中野圭二…訳)、白水Uブックス、1994年  
『東南アジアを知る 私の方法』鶴見良行、岩  
波新書、1995年  
『「殺すな」と「共生」 大震災とともに考え  
る』小田実、岩波ジュニア新書、1995年  
『アメリカ海兵隊 非営利型組織の自己革新』  
野中郁次郎、中公新書、1995年  
『ベトナムの現在』古田元夫、講談社現代新  
書、1996年  
『アメリカの心の歌』長田弘、岩波新書、19  
96年  
『アジア系アメリカ人 アメリカの新しい顔』  
村上由見子、中公新書、1997年  
『写真は心で撮ろう』石川文洋、岩波ジュニア  
新書、1999年  
『ベ平連と脱走米兵』阿奈井文彦、文春新書、  
2000年  
『ヴェトナム 「豊かさ」への夜明け』坪井善  
明、岩波新書、1994年  
『物語ヴェトナムの歴史 一億人国家のダイナ  
ミズム』小倉貞男、中公新書、1997年  
『カラー版 ベトナム 戦争と平和』石川文  
洋、岩波新書、2005年  
『特攻とは何か』森史朗、文春新書、2006  
年  
『ナチスと映画 ヒトラーとナチスはどう描か  
れてきたか』飯田道子、中公新書、2008年

#### 【文庫】

『浮雲』林芙美子、新潮文庫、1953/20  
03年  
『人間の集団について ベトナムから考える』  
司馬遼太郎、中央文庫、1974/1996年  
『世界の歴史16 現代―人類の岐路』(松本重  
治…責任編集)、中央文庫、1975年  
『東南アジア紀行(上)(下)』梅棹忠夫、中央  
文庫、1979年  
『何でも見てやろう』小田実、講談社文庫、1  
979年  
『サイゴンから来た妻と娘』近藤紘一、文春文  
庫、1981年  
『アメリカ合州国』本多勝一、朝日文庫、19  
81年  
『殺される側の論理』本多勝一、朝日文庫、1  
982年  
『パリ旅の雑学ノート カフェ・舗道・メト  
ロ』玉村豊男、新潮文庫、1983年  
『H I R O S H I M A』小田実、講談社文庫、  
1984年  
『ベトナム空中戦(ミリタリー・イラストレイ  
テッド1)』(ワールドフォトプレス…編)、光  
文社文庫、1984年  
『最新米軍サバイバル・マニユアル(ミリタリ  
ー・イラストレイテッド2)』(ワールドフォト  
プレス…編)、光文社文庫、1984年  
『米陸軍・特殊部隊の全貌 グリーンベレー  
(ミリタリー・イラストレイテッド3)』(ワー  
ルドフォトプレス…編)、光文社文庫、198  
4年  
『続ベトナム空中戦(ミリタリー・イラストレ  
イテッド7)』(ワールドフォトプレス…編)、  
光文社文庫、1985年  
『世界の軍用銃(ミリタリー・イラストレイテ  
ッド14)』(ワールドフォトプレス…編)、光文  
社文庫、1985年  
『戦うヘリコプター(ミリタリー・イラストレ  
イテッド22)』(ワールドフォトプレス…編)、  
光文社文庫、1988年  
『ライカでグッドバイ』青木富貴子、文春文  
庫、1985年  
『地雷を踏んだらサヨウナラ』一ノ瀬泰造、講  
談社文庫、1985年  
『サイゴンのいちばん長い日』近藤紘一、文春  
文庫、1985年  
『ベトナム報道1300日 ある社会の終焉』  
古森義久、講談社文庫、1985年  
『宇宙からの帰還』立花隆、中央文庫、198  
5年

『裏切られたベトナム革命』友田錫、中央文庫、1986年  
『ボクラ少国民と戦争応援歌』山中恒、朝日文庫、1989年  
『アジア食文化の旅』大村次郷、朝日文庫、1989年  
『検証 カンボジア大虐殺』本多勝一 朝日文庫、1989年  
『妻と娘の国へ行った特派員』近藤紘一、文春文庫、1989年  
『南ヴェトナム戦争従軍記(全)』岡村昭彦、ちくま文庫、1990年  
『ベトナム戦記』開高健(秋元啓一…写真)、朝日文庫、1990年  
『驚異の世界史 冥想するアジア インダスガンジス アンコール・ワット』(森本哲郎…編)、文春文庫、1990年  
『天皇の軍隊』本多勝一、長沼節夫、朝日文庫、1991年  
『報道カメラマン』石川文洋、朝日文庫、1991年  
『天と地 ベトナム篇(上)(下)』レ・リ・ヘイスリップ(渡辺昭子…訳)、角川文庫、1993年  
『天と地 アメリカ篇(上)(下)』レ・リ・ヘイスリップ、ジェイムズ・ヘイスリップ(飛田野裕子…訳)、角川文庫、1993年  
『オリヴァー・ストーン他(田口俊樹…訳)、新潮文庫、1993年  
『七歳の捕虜 ある中国少年にとつての「戦争と平和」』光俊明、現代教養文庫、1993年  
『ベトナムへ行こう』(勝谷誠彦…編)、文春文庫、1997年  
『朝鮮戦争 金日成とマッカーサーの陰謀』萩原遼、文春文庫、1997年  
『ハノイの純情、サイゴンの夢』神田憲行、講談社文庫、1998年  
『泥まみれの死 沢田教一ベトナム写真集』沢田サタ、講談社文庫、1999年  
『ライカとその時代』酒井修一、朝日文庫、2000年  
『カメラと戦争 光学技術者たちの挑戦』小倉磐夫、朝日文庫、2000年  
『ベトナムで見つけた かわいい・おいしい・安い!』杉浦さやか、祥伝社黄金文庫、2000年  
『忘れないよ!ヴェトナム』田口ランディ、幻冬舎文庫、2001年

『中古カメラ屋通の本』円谷円、小学館文庫、2001年  
『中古カメラの愉しみ 金属人類学入門』赤瀬川原平、知恵の森文庫、2003年  
『二重壁・なまけもの 開高健初期作品集』開高健、講談社文芸文庫、2004年  
『アジア おいしい話』平松洋子、ちくま文庫、2004年  
『旅して見つけたベトナムとタイ 毎日のごはん』平松洋子、集英社be文庫、2005年  
『戦争の話を聞かせてくれませんか』佐賀純一、新潮文庫、2005年  
『一号線を北上せよ ヴェトナム街道編』沢木耕太郎、講談社文庫、2006年  
『闇の奥』コンラッド(中野好夫…訳)、岩波文庫、1958年  
『戦争論(上)』クラゼヴィッツ(篠田英雄…訳)、岩波文庫、1968年  
『ジョニーは戦場へ行った』ドルトン・トラノボ(信太英男…訳)、角川文庫、1971年  
『ちよっとピンぼけ』ロバート・キャパ(川添浩史、井上清一…訳)、文春文庫、1979年  
『宇宙の戦士』ロバート・A・ハインライン(矢野徹…訳)、ハヤカワ文庫SF、1979年  
『モデラート・カンタービレ』マルグリット・デュラス(田中倫郎…訳)、河出文庫、1985年  
『フルメタル・ジャケット』グスタフ・ハスフオード(高見浩…訳)、角川文庫、1986年  
『脱走者の勲章』ロン・マーティン(佐宗鈴夫…訳)、ハヤカワ文庫NF、1988年  
『7月4日に生まれて』ロン・コビック(日高義樹…訳)、集英社文庫、1990年  
『ベトナム、地対空』ジェフリー・L・ルビンソン(逆井幸江…訳)、朝日ソノラマ、1990年  
『イヌのころがわかる本』マイケル・W・フオックス(平方文男、平方直美、奥野卓司、新妻昭夫…訳)、朝日文庫、1991年  
『愛人 ラマン』マルグリット・デュラス(清水徹…訳)、河出文庫、1992年  
『JFK ケネディ暗殺犯を追い』ジム・ギャリソン(岩瀬孝雄…訳)、ハヤカワ文庫NF、1992年  
『ローリング・サンダー(上)』マーク・ベレント(伏見威蕃…訳)、ハヤカワ文庫NF、1992年  
『ニュークリア・エイジ』ティム・オブライエン(村上春樹…訳)、文春文庫、1994年

『森の生活(上)(下)』H・D・ソロー(飯田実・訳)、岩波文庫、1995年

『彼らはヴェトナムへ行った 陸軍士官学校66年クラス(上)(下)』リック・アトキンソン(平賀秀明・訳)、新潮文庫、1995年

『グッバイ・サイゴン』ニナ・ヴィーダ(矢沢聖子・訳)、講談社文庫、1997年

『アポロ13号奇跡の生還』ヘンリー・クーパーJr.(立花隆・訳)、新潮文庫、1998年

『ベスト&ブライテスト 栄光と興奮に憑かれて』デイヴィッド・ハルバースタム(浅野輔・訳)、朝日文庫、1999年

『デキのいい犬、わるい犬』スタンレー・コレン(木村博江・訳)、文春文庫、2000年

『ロバート・キャパ写真集「戦争・平和・子どもたち」』リチャード・ウーラン、コーネル・キャパ(河津一哉・訳)、宝島社文庫、2001年

『アメリカ・インディアンの書物よりも賢い言葉』エリコ・ロウ、扶桑社文庫、2001年

『ベトナムの少女 世界で最も有名な戦争写真が導いた運命』デニス・チョン(押田由起・訳)、文春文庫、2001年

『人民の戦争・人民の軍隊 ヴェトナム人民軍の戦略・戦術』ヴォー・グエン・ザップ(眞保潤一郎、三宅路子・訳)、中央文庫、2002年

『ワンス&フォーエバー』ハロルド・G・ムーア、ジョセフ・L・ギャロウェイ(楠木成文・訳)、角川文庫、2002年

『9・11 アメリカに報復する資格はない!』ノーム・チョムスキー(山崎淳・訳)、文春文庫、2002年

『ヴェトナム戦場の殺人』デイヴィッド・K・ハーフオード(松本剛史・訳)、扶桑社ミステリー、2002年

『歴史にならなかつた歴史』ロジャー・ブランズ(眞崎義博・訳)、文春文庫、2003年

『キャパ その青春』リチャード・ウィーラン(沢木耕太郎・訳)、文春文庫、2004年

『キャパ その戦い』リチャード・ウィーラン(沢木耕太郎・訳)、文春文庫、2004年

『キャパ その死』リチャード・ウィーラン(沢木耕太郎・訳)、文春文庫、2004年

『戦争における「人殺し」の心理学』デーヴ・グロスマン(安原和見・訳)、ちくま学芸文庫、2004年

『ぼくたちは水爆実験に使われた』マイケル・ハリス(三宅真理・訳)、文春文庫、2006年

『実録・アメリカ超能力部隊』ジョン・ロンソン(村上和久・訳)、文春文庫、2007年

『新訳 ゲリラ戦争 キューバ革命軍の戦略・戦術』チェ・ゲバラ(甲斐美都里・訳)、中央文庫、2008年

『ヒロシマを生き抜く 精神史的考察(上)(下)』ロバート・J・リフトン(榎井迪夫、湯浅信之、越智道雄、松田誠思・訳)、岩波現代文庫、2009年

『世界のすべての七月』ティム・オブライエン(村上春樹・訳)、文春文庫、2009年

『本当の戦争の話をしよう』ティム・オブライエン(村上春樹・訳)、文春文庫、1998年